

## 古文書修復実習

**日時** 2024年3月10日（日）10:00～17:00、3月11日（月）9:30～17:00  
**会場** 日本常民文化研究所 古文書修復室（横浜キャンパス3号館地下2階）  
**講師** 関口博巨（日本常民文化研究所所員）  
白水 智（日本常民文化研究所客員研究員・中央学院大学教授）  
山口悟史（日本常民文化研究所客員研究員・東京大学史料編纂所技術専門職員）  
中村 慧（杉並区生涯学習推進課文化財係）  
平田茉莉子（修復専門員）  
**内容** 基本的な古文書修復技術の説明及び実習 ①現状の記録・解体（修理の準備）  
②修理（繕い・裏打ち） ③復元（化粧裁ち・製本） ④下張り文書の剝離 反省会

## 古文書修復実習を開催

関口 博巨

2023年3月10～11日、全国各地から16名の受講者を迎え、恒例の古文書修復実習を開催した。  
当日のスケジュールは以下のとおりである。

2024年3月10日（日）

10:00～17:00 基本的な古文書修復技術の説明及び実習

- ①現状の記録・解体 ②修理（繕い・裏打ち）  
③復元（化粧裁ち、製本） ④下張文書の剝離



写真1 第27回古文書修復講座



写真2 現状の記録・解体



写真3 修理／繕い



写真4 復元／化粧裁ち



写真5 剝離／襖の下張り文書の剝離

2023 年 3 月 11 日（月）

9:30～16:30 同上 ①～④

16:30～17:00 反省会

今回の受講者の皆さんは、博物館や図書館などにお勤めで、日頃から古文書などの紙資料を扱っておられる方が多かったです。それだけに、お一人お一人が差し迫った課題を抱えておられ、真剣に実習に取り組む姿が印象に残った。実習後の反省会は、実習内容にかんする質疑はもとより、資料保存活動を進める上での課題や悩みを語り合う場にもなった。

最後に、実習終了後にお寄せいただいたアンケートをいくつか紹介しておきたい。

「密度の濃い実習でした。講師の先生はもちろん、受講者の皆さんも熱心で、この場に参加できたことをとても嬉しく感じています」

「古文書を扱う基本的な考え方を、作業工程の中から学ぶことができたと思っています。これらを自館に持ち帰り、まずはできることから取り組んでいこうと思います」

「何かをしなければならないに関わらず、全くできないという忸怩たる状況でした。そんな中で、今回の講座は、本当に初めの一步ながら良い経験となりました」

「一つの工程のみを行うのではなく、通しで学べたことで分かることも多かったです」

「様々な分野の方と関わることができ、たいへんうれしく思いました」

「今回いただいたご縁を大切に、職務に励みます。その中で壁に当たりましたら、ご相談にのっていただけますと幸いです」